



第7号
那覇市立
石嶺中学校
校長 仲嶺香代

新たな気持ちで臨む 決意表明でさわやかにスタート!

実りの秋になりました。石嶺中生徒一人一人が決意を新たに、二期期の始業式に臨みました。これまでの頑張りを実を結び、成果として現れてくる季節です。石嶺中職員一丸となって、頑張る生徒の皆さんを応援します。保護者の皆様、これまで同様、本校教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



1年 與那嶺穂花さん

私が一学年の一学期で特に良いと感じたことは錬心祭です。錬心祭では一人一人が主役となり、一生懸命練習し、心から楽しみました。それぞれのクラスや団が日々の練習を一生懸命しました。本番では、練習の成果を発揮でき、とても良い思い出になりました。

とても充実した一学期でした。いくつか課題もありました。言葉でのトラブルが多く、嫌な思いをする生徒もおり、言葉の大切さを学びました。二期期では、一人一人が言葉に責任を持ち発言するとトラブルも少なくなると思います。また、よく注意されたのが休み時間と授業の時間のけじめです。二期期では切り替えができるよう全員が意識し、改善しましょう。二期期には合唱コンクールもあります。各学級団結力を深めていき、楽しみながら曲を作っていけるよう頑張ります。



2年 西里 千裕さん

九日間の秋休みを終えて今日から二期期が始まります。二期期は十一月に合唱コンクール、そして十二月に修学旅行など、私たち二年生にとって大きな行事があります。それらの行事をこなしていくために、一学期の課題を振り返り、良いところはさらに良く、直すべきところは直していききたいと思います。

私たち二年生のいいところは男女が何事も協力して行動できるところだと思います。例えば遠足やレク、錬心祭などのイベントの時に男女が協力して行動できたとし、普段の授業でも男女が教え合う雰囲気があります。私個人としても、メリハリのある男女仲の良いクラスを目指すために、普段の授業でも「あいさつに始まりあいさつで終わる」と意識しました。しかし、学年でできなかったことがあります。それは休み時間の正しい過ごし方です。本来休み時間は次の授業の準備をしたり、トイレや給



3年 名嶋 尊さん

水をする時間ですが、廊下を走り回ったり、他のクラスに入ったり、授業の準備が遅れたりする人がいました。休み時間の過ごし方を改め、引き続き仲の良さを大事にして、中堅学年として恥ずかしくない行動ができるように、普段から気を付けて頑張っていきたいです。また、これから受験や卒業を迎える先輩たちを支えていくという使命もあります。先輩からちゃんと言葉を引き継いでいけるように頑張っていきたいと思います。

一学期には、錬心祭があり、玉入れやダンス、リレーなどを通して学級の絆や学年の絆がとても深まったと思います。その錬心祭は団対抗で行われたので、ダンスを団長、副団長が一、二年生に教えなければなりません。どのクラスの団長、副団長も練習の時に教え方をわかりやすくするなどの工夫をして、丁寧に教えていたので、当日のダンスは全ての団とても素晴らしく、思い出に残る

錬心祭となりました。一方、一学期には様々な課題があったと思います。例えば、授業と休み時間のけじめがないこと、各クラスの級長、副級長が授業の始めの号令や終わりの号令をかけたときの返事がなかったり、返事の声が小さかったりすること、一学期の最初の頃より、朝の早登校ができなくなってきたりしていることなどです。このような課題を二期期では克服することで、一学期よりもよりよい学校生活を送ることができると思います。二期期には合唱コンクールなどの行事があります。残りわずかな中学校生活ですが、たくさんさんの良い思い出をつくれるようにしましょう。また、三月七日、八日には高校受験があります。ひとりひとりが受験生であることを自覚し、しっかりと受験勉強に取り組む、全員合格ができるように、みんなで力を合わせてがんばっていきましょう。

